

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		高齢者日常生活支援事業費〔高齢者理・美容券交付事業〕									
予算科目	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	3	老人福祉費	事業番号	4
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	地域包括ケア推進（高齢介護）課					高齢者支援		係	課長名		石嶋 洋平
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 2		
【施策名】 高齢者保健福祉の推進								総合計画書 (ページ)	51		
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）					
	①65歳以上の高齢者で、常時ねたきりの状態又はこれに準ずる状態にあるため介護を必要とするものであって、その状態が6か月以上継続し、なお継続すると認められるもの。 ②入院又は入所等をしていないもの。					市内65歳以上の高齢者数（令和3年4月1日現在）					
	→										
2 指標の推移	② ①をどのような状態にしたいのですか。〔簡潔に〕					② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）					
	高齢者の保健衛生を向上させ、生活の安定を図る。					交付者数					
	→										
3 経費	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）					
	市内在住の65歳以上の高齢者で、常時ねたきりの状態又はこれに準ずる状態にあるものに、理・美容券を交付し、対象高齢者が在宅で理・美容サービスを受けることができるようにした。 交付の流れについては、まず担当区域の高齢者ほと支援センターの職員が自宅訪問し、身体状況を確認。同センターによる申請代行を受けて、市が交付決定する。対象者には年4枚の理・美容券を交付した。					交付者数					
	→										
		単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
			平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績		令和4年度目標	令和5年度目標			
2	対象指標	①の数値	人	22,902	23,062	23,275					
	成果指標	②の数値	人	17	16	16					
	目標	②の目標値	人	12	17	16		16	16		
		目標値設定の考え方 高齢者世帯への日常（在宅）生活の支援を図るため、前年度実績を目標に設定した。									
	活動指標	③の数値	人	17	16	16					
3	事業費（実績）		円	98,000	102,200	59,500		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値（退職手当組合負担金、共済費も含む。）			
	財源	一般財源	円	98,000	102,200	59,500					
		特定財源（国・都・他）	円	0	0	0					
		（うち受益者負担）	円	0	0	0					
	人件費（目安）	所要人数（再任用以外）	人	0.1	0.1	0.1					
		所要人数（再任用）	人								
		職員人件費（再任用以外）	円	831,000	838,000	825,000					
	職員人件費（再任用）	円									
事業費＋人件費		円	929,000	940,200	884,500						
4 環境変化等	(1) 開始年度	昭和57年度									
	(2) 環境の変化	理・美容券の交付を行うことで、高齢者の保健衛生を向上させ、かつ、生活安定を助長させるのが目的である。開始当初は、在宅ねたきり高齢者を対象にしていたが、平成3年4月から、新たに70歳以上のひとり暮らし高齢者で一定の所得内のもも対象とした。平成13年4月から緊急財政対策プランに基づき、対象者を以前のねたきり又はこれに準ずる高齢者に変更している。									

事業名称	高齢者日常生活支援事業費 [高齢者理・美容券交付事業]			
担当部署・課長名	地域包括ケア推進（高齢介護）課	高齢者支援	係	課長名 石嶋 洋平

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	特になし			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）			
	特になし			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。			
	特になし			
8	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
	特になし			
9 今後の方向性	8 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）			
	施策名： 高齢者保健福祉の推進 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 現状維持が妥当			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
特になし				